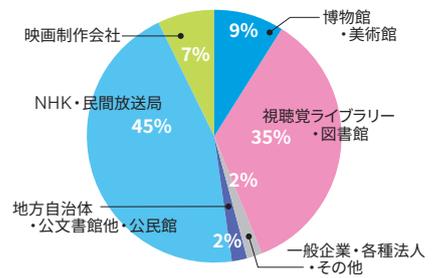


日本国内に映画フィルムは何本所蔵されているのか

～平成26～31年度文化庁文化芸術振興費補助事業「記録映画のデジタル保存・活用調査研究」～

5年半にわたるフィルム調査では、**約7,000施設**を対象にアンケート調査を行い、回答を得られた約5割の内、**1,000ヵ所近くの施設**にフィルムがあることが判明しました。その総数は**560,000本以上**に及びます。フィルムの多くは劣化が進み、所有施設は保存や活用に関する問題を抱えています。

この調査をもとに、今後もフィルムの保存と活用に努めてまいります。



※表の数字は6年間に渡る調査の累計数です。数字は変動しています。

2014年9月～2020年3月合計 調査項目から抜粋

調査対象とフィルム所有本数 (フィルム本数は概算です)

🎯 **フィルムを所有する博物館は多いようです。**

調査票送付先	発送箇所数	回答数	フィルム所有施設数	フィルム所蔵総本数
博物館	2,657	1,763	386	48,117
美術館	561	390	51	1,415
視聴覚ライブラリー	502	300	268	178,252
公文書館他	98	69	31	7,840
図書館	1,206	731	118	18,012
公民館	594	186	13	567
一般企業	778	125	32	5,688
各種法人	108	28	10	1,758
地方自治体	49	32	16	5,747
NHK (地方局含む)	54	11	1	110,000
民間放送局	138	85	35	142,559
記録映画制作会社	63	18	17	39,007
その他	8	8	7	5,613
合計	6,816	3,746	985	564,575

※国立映画アーカイブ所有のフィルム数をはふいた数字です。

うち題名判明 119,437本

いつ頃のフィルムか? (施設数)

🎯 **戦前のフィルムを所有する施設も多いようです。**

所蔵フィルムの年代	美術館	博物館	公文書館他	視聴覚ライブラリー	図書館	公民館	一般企業	各種法人	地方自治体	記録映画制作会社	その他の施設	全施設合計
1945年以前(戦前)	7	92	10	11	12	0	5	0	0	1	1	139
1946～1955年	4	70	14	29	11	0	7	0	2	5	3	145
1956～1970年	20	152	24	100	30	3	17	4	7	16	4	377
1971～1980年	22	161	11	167	52	6	16	4	6	16	2	463
1981～1999年	18	130	13	185	57	8	16	6	7	16	2	458
2000年以降	3	23	3	97	16	1	5	2	3	8	2	163
未確認	6	50	3	78	33	3	5	2	5	0	1	186

放送局が所蔵しているフィルムの撮影(制作)年代 (36局中)

1945年以前(戦前)	1946年以降	1956年以降	1971年以降	未確認・無回答
9局	6局	19局	5局	3局

回答をえやすいよう、放送局等は、一部質問形式を変えているため集計表が分かれています。

どんなジャンルのフィルムをどのくらいの数保存しているか?

🎯 **記録映画を所有する施設が多いようです。**

ジャンル	本数	施設数	本数	施設数	本数	施設数	本数	施設数	本数	施設数
劇映画(邦画)	1～100本	154	101～200本	12	201～500本	2	500本以上	4	未確認	52
劇映画(洋画)	1～100本	48	101～200本	2	201～500本	2	500本以上	3	未確認	41
アニメ	1～100本	155	101～200本	55	201～500本	38	500本以上	1	未確認	60
記録映画	1～100本	356	101～200本	17	201～500本	13	500本以上	6	未確認	84
教育教材(学校・家庭・社会)	1～100本	208	101～200本	46	201～500本	83	500本以上	56	未確認	87
ニュース映画	1～100本	67	101～200本	3	201～500本	8	500本以上	4	未確認	42
美術作品(実験映画など)	1～100本	34	101～200本	3	201～500本	1	500本以上	0	未確認	32
民俗・無形民俗文化財の記録	1～100本	155	101～200本	3	201～500本	3	500本以上	3	未確認	51
アマチュア・市民の作品	1～100本	75	101～200本	5	201～500本	3	500本以上	1	未確認	34
その他 コレクション等	1～100本	51	101～200本	4	201～500本	5	500本以上	2	未確認	32

博物館・美術館・視聴覚ライブラリー・公文書館・図書館・公民館のみで集計

デジタル化はどのくらいできているか？ (作品タイトル数)

放送局以外

🎯 デジタル化の割合が高いのは公文書館のみです。

デジタル化	企業、法人、自治体	記録映画制作会社	その他	美術館	博物館	ライブラリー	公文書館他	公民館	図書館	合計
デジタル化有り	4,994	3,541	208	131	6,343	3,572	2,315	1	521	21,626
デジタル化無し	7,695	134,716	4,996	1,119	20,331	121,385	1,041	540	17,191	309,014

放送局

🎯 多くの放送局でデジタル化作業を進めているため、デジタル化の割合は年々増えていると思われます。

デジタル化の割合	すべて完了	9割	8割	7割	5割	4割	3割	2割	未着手	無回答
放送局36社中	44.4%	13.9%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	2.8%	2.8%	11.1%	2.8%

デジタル化を進めている施設、団体の割合

🎯 デジタル化のフォーマットを決めかねている施設も多いようです。



デジタル化できない理由は？ (施設数)

🎯 予算や著作権の問題は大きいようです。

理由	博物館	美術館	ライブラリー	図書館	公文書館	公民館	企業、法人	放送局	制作会社	その他	合計
著作権上の問題	58	7	108	19	8	2	2	11	6	2	223
予算上の問題	156	17	142	40	16	2	17	1	12	2	405
人員の問題	61	7	59	15	4	0	0	10	0	0	156
過去のフィルム作品について把握できていない	0	0	0	0	0	0	10	0	1	0	11
デジタル化を必要としていない	96	10	104	69	7	6	22	6	2	0	322
その他	49	7	19	12	3	3	3	6	1	1	104

◆フィルム所蔵施設現地調査

これまで113施設を訪問し、現状や問題点について聞き取りを行いました。具体的な質問や相談も多く受けました。(2020年3月現在)

訪問施設	訪問箇所数	状況
博物館・美術館等	52	古い年代の貴重なフィルムを所有しているものの、映像内容を確認できないまま常温倉庫に保管し続けている施設が多く見受けられました。
視聴覚ライブラリー・図書館・公民館等	32	数百、数千単位で抱える視聴覚フィルムの保存や活用方法に悩まれている施設が多くありました。フィルムの劣化も大きな問題となっています。
公文書館・古文書館等	6	紙資料やマイクロフィルムと一緒に、常温管理されているケースが多く見られました。視聴ができない施設が大半でした。
一般企業・地方自治体等	9	過去に制作された自主のPR映画について、保管しているのは当時制作会社から納品されたプリントのみで、ネガ原版の所在を把握ができていないところは少ないようです。
放送局	7	放送局は現在急ピッチでデジタル化を進めていますが、フィルムを扱えるスタッフはすでにほとんどいなく、フィルムを廃棄してしまったところも多いようです。
映画制作会社	7	自社で管理、または有料倉庫で保管している制作会社もありますが、ある時期に国立映画アーカイブに寄贈したところも多く見受けられます。

◆全国フィルム所有施設検索データベース

記録映画保存センターホームページ内に掲載しています。 <https://kirokueiga-hozon.jp/search-library/shisetsu-database>

これまで多くの施設からフィルム作品リストの提供を受け、その作品総数は10万本を越えました。

その中で承諾を得られた施設の所蔵作品5万本以上をWeb公開し、検索可能にしました。(2020年3月現在)

フィルム所蔵施設数	Web公開承諾施設数	Web公開承諾リスト作品数
985	276 / 478	54,192 / 119,437

公開施設内訳＝博物館・美術館：145施設／視聴覚ライブラリー・図書館：105施設／
地方自治体・公文書館他・公民館：18施設／一般企業・各種法人・その他：4施設／映画制作会社：4施設

❖印刷リストのみ提供を受けた施設の作品はデータベース化できていないものもあります。

平成31美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業 <2020年2月>
文シキテ